

平成29年 第3回 糸島市議会定例会 一般質問概要

日程	順	議員名	件名
9月12日 (火)	1	波多江 貴士	教職員の多忙化解消の取り組みについて
	2	高橋 徹郎	玄海原発再稼働について
			教育予算について
			新庁舎の計画について
			市民の市政への参画について
	3	伊藤 千代子	神在保育所の移管先選定と法令順守について
			平成グループと関連業者への事業発注について
市民の声を聞く市政への転換について			
4	岡村 一伸	新駅設置事業について	
9月13日 (水)	1	笹栗 純夫	ブランド糸島を最大限に活用するために
			バイオマス産業都市の認定を受け糸島市の役割を問う
			人にやさしい、安心安全なまちづくりのために
	2	黒田 公二	消防本部パワハラ事件について
			豪雨災害対策について
			胃がん撲滅～ピロリ菌リスク検査導入について
3	藤井 芳広	本市における若者政策について	
9月14日 (木)	1	柳 明夫	中央ルート南側延伸について
			前原北部再開発と「まちづくりと一体となった交通システム」について
			水害、土砂災害対策について
			核のゴミ最終処分場について
	2	井上 健作	月形市政の4年間と今後
	3	田原 耕一	農漁業用施設の維持管理の現状について
国県事業の活用について			
市民が豊かさを実感できるための市政運営について			

日程	順	議員名	件名	要旨
9月12日 (火)	1	波多江貴士	教職員の多忙化解消の取り組みについて	(1) 時間外、休日勤務の実態と管理について (2) 健康管理、メンタルヘルスについて (3) 時間外勤務削減への取り組みについて
	2	高橋 徹郎	玄海原発再稼働について	(1) 玄海原発再稼働に対する市長の考え方について (2) 同意権を求めるための他市との連携について (3) 原子力避難訓練について
			教育予算について	(1) 小中学校の現場からの備品の要求に対して、確保している予算は要求の何割か。 (2) 同じく、校舎や学校施設の現場からの修繕要求に対して、確保している予算は要求の何割か。 (3) 小中学校の人的配置について
			新庁舎の計画について	(1) 新庁舎の計画の進捗状況について (2) 多額の予算が必要になるが、事業費を抑える工夫について
			市民の市政への参画について	(1) 現在、市民の市政への参画にどのようなものがあるのか。 (2) 今以上の市民の市政への参画を促す取り組みについて
	3	伊藤千代子	神在保育所の移管先選定と法令順守について	(1) 許認可事務における法令順守の重要性について (2) 募集要項と応募資格について (3) 平成28年2月26日に子ども課が受理した「いとしま子どもの会設立準備会」の申請内容について (4) 平成28年5月から7月にかけて4回開かれた移管先選定委員会と採点結果について (5) 平成28年7月5日に市長決裁された移管先の「決定書」において選定した法人名が、実際は法人格を持たない「いとしま子どもの会（仮称）設立準備会」となっていること及びその住所が福岡市東区となっていることについて (6) 平成28年11月18日に市が設立を認可した「社会福祉法人いとしま子どもの会」が社会福祉法に基づき厳正に審査されたかどうかについて

9月12日 (火)	3	伊藤千代子	平成グループと関連業者への事業発注について	(1) 発注状況、補助金の支出について
			市民の声を聞く市政への転換について	(1) 1日におよそ4千人が利用する桂田踏切の閉鎖は、市の交通に大混乱を引き起こす恐れがある。JRの変電所を西に移設させ、新駅のホームを確保することで、踏切の閉鎖は中止すべきではないか。 (2) 甚大な豪雨災害が頻発する中で、アンダーパスの中央ルートは危険である。住民の合意も得られていない。計画を見直すべきではないか。
9月13日 (水)	1	笹栗 純夫	ブランド糸島を最大限に活用するために	(1) 糸島の日本一は何があるか。 (2) 平原歴史公園のコスモス畑は、今後も継続してコスモスの名所として維持できるか。市として、どのように支援されるのか。毎年約3000人が訪れる平原王墓まっりの駐車場不足に対し、どのような対応を考えているか。 (3) 鯛の水揚げ量日本一を維持するため、生産者の負担軽減、漏電対策、密航・密輸防止のための漁港のLED化は喫緊の課題であるが、今後の取組みを伺う。 (4) 水素ステーションが九州大学にあるが、それを活用した水素バスの運行や、日本が高い技術を誇る水素関連工場の糸島誘致に動かないか。名実ともに水素タウン糸島を作らないか。 (5) 糸島の認知度を上げるため「なんでも鑑定団」の誘致や、「原田大六先生」をモデルにした映画化や朝のNHK連続ドラマ化など、市長が先頭に立って誘致活動をしないか。
				4

9月13日 (水)	1	笹栗 純夫	バイオマス産業都市の認定を受け糸島市の役割を問う	<p>(1) 「循環型農業と糸島ブランド」についての市長の今後の方針を伺う。</p> <p>(2) 糸島の基幹産業である農業の後継者対策、「臭い匂いを取ってくれ」との市民要望に応える最大の「環境対策」と考える。関係7省庁の窓口は当然のこととして、<sup>おこっぺちよう</sup>興部町のような「畜産自治体のバイオガス施策」なども参考にされ、市長陣頭指揮の元、クリーンな街づくりを目指さないか。</p>
			人にやさしい、安心安全なまちづくりのために	<p>(1) ヘルプカードの導入について</p> <p>①障がい者や、外国人が安心して暮らせるように、他の自治体や福岡県も推奨している「ヘルプカード」を糸島市でも導入しないか。</p> <p>②要援護者などが、自分の家の冷蔵庫などに保管している「救急医療情報キット」とヘルプカードと同期しておく必要があるのではないか。</p> <p>③後発となるヘルプカードを導入するからには、先進事例を研究し「人にやさしいヘルプカード」として、必要な人に確実に持っていただけるために何をしなければいけないか。</p> <p>(2) 消火器提供者への補償制度について</p> <p>①初期消火が最重要であり、消火器が威力を発揮する。自主的に消火器を提供いただいた方への補償はすべきではないか。これを市民に周知すると、消火器設置住宅が増えて、安心安全の街づくりに寄与すると思うが。</p> <p>(3) 安心・安全ネットワーク青少年育成ネット部会（仮称）の設置について</p> <p>①糸島には保護司、糸島市青少年育成指導員、少年補導員がそれぞれ健全な青少年育成を柱に活動されているが、目的が一緒であるが連携できていない。力が分散すると思うが、今のままで良いか。</p> <p>②「安心・安全ネットワーク」に青少年育成ネット部会（仮称）を作り、場所を確保し意見交換をすべきと思う。そこに気軽に相談に来る若者を暖かく受け入れることはできないか。</p>

9月13日 (水)	2	黒田 公二	消防本部パワハラ事件について	<p>(1) 今回の事件について、反省を踏まえ、消防本部としてどのように総括しているのか。</p> <p>(2) 今後こうした事件を防止するため、どのような意識改革を行っていくのか。</p> <p>(3) 再発防止のため、組織・制度を見直すべきではないか。</p> <p>①昇任制度の見直しについて</p> <p>②外部の目の導入について</p>
			豪雨災害対策について	<p>(1) 本年7月の九州豪雨では、中小河川の氾濫と土砂災害により、想定外の甚大な被害をもたらしたが、本市でも改めて危険想定箇所の再調査及び見直しを行わないのか。</p> <p>また、今回と同程度の豪雨が発生した場合、本市において、どのような被害が想定されるか。</p> <p>(2) 事前防災とタイムライン防災について</p> <p>①現在のハザードマップでは、住民の危機意識は湧かない。「流域・広域ハザードマップ」の作成が必要ではないか。</p> <p>②国・県営河川を含め水位監視カメラ、水位計の設置状況と危険水位となった場合の情報伝達方法は。</p> <p>③タイムラインの作成について</p>
			胃がん撲滅～ピロリ菌リスク検査導入について	<p>(1) 3年前の6月議会でピロリ菌リスク検査導入について質問を行い、調査研究を行うとの答弁をいただいていたが、その後の経過について伺う。</p>
	3	藤井 芳広	本市における若者政策について	<p>(1) 若者に関する社会的な課題について</p> <p>(2) 若者を対象とした政策の必要性について</p> <p>(3) 若者を支援する政策について</p> <p>①現状、課題、今後の取り組みについて</p> <p>(4) 若者の声を市政に反映するための政策について</p> <p>①現状、課題、今後の取り組みについて</p>

9月14日 (木)	1	柳 明夫	中央ルート南側延伸について	<p>(1) 計画の概要について</p> <p>①着工・完成の予定、費用など。</p> <p>(2) アンダーパス構想について</p> <p>①地元の反対の声をどう受け止めているか、平面交差にした場合とのコストの比較など</p> <p>(3) 交通需要の予測。</p> <p>(4) 多額の費用をかけて延伸する理由は何か。</p> <p>(5) 波多江インター構想との関連。</p>
			前原北部再開発と「まちづくりと一体となった交通システム」について	<p>(1) 交通システムの必要性和調査の状況。</p> <p>(2) モノレール、鉄道の場合の費用の見通しと市の負担について</p> <p>(3) 前原北部再開発構想との関連について</p>
			水害、土砂災害対策について	<p>(1) 土砂災害警戒区域の状況と被害防止対策について</p> <p>(2) 市内の人工林の状況と流木による被害防止対策について</p> <p>(3) ため池の状況と被害防止対策について</p> <p>(4) 河川・水路の安全対策について</p> <p>(5) 避難対策について</p> <p>①ハザードマップの周知と活用、住民と市による協同の防災活動、災害情報の伝達など。</p>
			核のゴミ最終処分場について	<p>(1) 糸島市域の多くを適地とした政府の発表についてどう考えているか。</p> <p>(2) 最終処分場に不応ずるかどうかの市の判断について</p>
	2	井上 健作	月形市政の4年間と今後	<p>(1) 市長公約の“元気ないとしまを豊かさ実感のいとしまへ”の達成状況は。</p> <p>①達成した施策の内、大きな成果は。</p> <p>②実施できていない事業は。</p> <p>(2) 後期基本計画（H28年度～32年度）への思いと施策は。</p> <p>①前期の重点プロジェクトに加え“しごとづくり”“移住支援”を入れた理由は。</p> <p>②特にハード事業（運動公園・庁舎建設・新駅）について問う。</p> <p>(3) 今後の糸島の課題は。</p> <p>(4) 次期市長選挙への出馬の意向は。</p>

9月14日 (木)	3	田原 耕一	農漁業用施設の維持管理の現状について	(1) 農漁業用施設の老朽化の現状、今後の維持管理方針について (2) 農漁業用施設工事分担金徴収条例の見直しの必要性について
			国県事業の活用について	(1) 現在の取り組み(体制)状況について (2) 担当部署の必要性について
			市民が豊かさを実感できるための市政運営について	(1) 市民が求める豊かさとは。 (2) これまでの取り組みと課題について